

ふすまの張り替え アイロンで張る

ふすまの張り替えは難しいと思いませんか。実は、枠を外さずに、前のふすま紙の上に直接張ることができるのです。最近では、アイロンで張るふすま紙も販売されており、初めての方でも簡単にできます。

用意するもの

- ・インテリアパール（またはマイナスドライバー）
- ・マスキングテープ
- ・スチームアイロン
- ・カッターナイフ
- ・定規
- ・ふすま紙

※すべてコメリで販売中（一部商品はお取り寄せとなります）

1 引手を外す



インテリアパールを引手とふすまの間に差し込み、軽く上下するとクギが浮いてきます。クギを抜き、引手を外します。

2 マスキングテープを張る



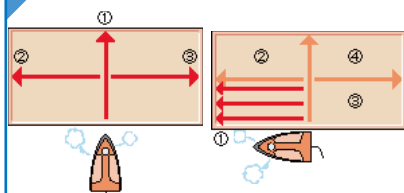
ふすまの枠にマスキングテープを貼ります。のりが付かないように保護するためです。

3 ふすま紙の位置を決める



柄が下にある場合は下から、上の場合は上から位置を決めます。柄が曲がっていないか確認し、ふすまの大きさに合わせて簡単に折り目を付け、四隅に切り込みを入れます。

4 アイロンで接着をする



高温に温めたアイロンを使い、最初は十字にアイロンをあてます。20秒くらいで枠に着くように、アイロンを進めましょう。次に、4分の1ずつ接着します。この時、アイロンの先が常に一定の進行方向を向くようにしてください。先を回すとしわになってしまいます。また、中から外に向かってあてるようにしましょう。

5 ふすまの周囲を接着する



アイロンで枠を押しやるように、周囲を接着します。アイロンの角を使ってもう一度周囲を接着します。割り箸をアイロンの下に置き、滑らせると、アイロンの角が使いやすいです。

6 余分な紙を切る



枠の内側に定規をあて、カッターの刃を沿わせて余分な紙を切り取ります。再度仕上げのアイロンをかけます。

MEMO

枠に紙が付いてしまった時は、むりに引っ張らないこと。ふすま紙が破れてしまいます。アイロンを使うと熱でのりが溶けるので、簡単にはがすことができます。

7 引手を付ける



引手部分にカッターで切り込みを入れ、クギ穴が上下にくるようにはめ込み、クギを打ちます。大きいクギを使って打つと、最後まできれいに打つことができます。

8 完成



マスキングテープをはがして完成。

MEMO

引手のクギが左右になると、開閉の時に指先に当たります。必ず上下に打ちましょう。

Howto^{なで}

動画でもっとわかりやすく！暮らしに関するHowto情報を動画で配信中。



How To 情報

コメリドットコム「HowTo情報」には、DIY情報、住まいや暮らしに役立つノウハウが満載です。

